

# 第1回広島県管理河川大規模氾濫時の減災対策協議会（北部建設事務所管内） 議事概要

日 時：平成29年2月2日（木）10：00～11：15

場 所：北部建設事務所

出席者：別紙出席者一覧のとおり

## 【決定事項】

本協議会の設立趣旨，規約について決定した。

## 【各委員の発言】

三次市：昨年，国からは江の川の減災対策協議会で最大浸水想定区域を示していただいたが，県の管理河川は5年間の中でどうしていくのか？方向性はどうか？

事務局：県管理河川におきましても，対象河川が60河川ほどありますが，直轄河川と整合を取る必要がある河川，流域が比較的広い重要な河川などを優先しながら順次作成している状況です。

15ページをご覧ください。現在，計画規模での浸水想定区域を作成し公表しておりますが，最大浸水想定区域図も適宜作成し，公表していきます。

土木建築局：最終的には市民の方がちゃんと避難していただけるようにするために，最大浸水想定区域図も作っていきます。また，いろんな情報をどのタイミングで出していくかも含めてこの協議会で議論していきたい。また，リードタイムの検討でいつ避難してもらうかを住民の避難行動を実地検証して基準水位を定めていくこと，今後の気象がどう変化していくか，この2点をしっかり検証しながら市長さんが適切なタイミングで住民の方にいろんな情報が出せるような取組みを行っていくことがこの協議会の主旨です。市長さんが判断するにはもう少しこういう情報が欲しいといったような意見をいただきながら進めていきたい。

三次市：ハード整備は積極的にお願いをしたいところであるが，国の最大浸水想定区域図を見ると，とてもハードで浸水被害を防ぐことは厳しい。いかにソフト対策で命を守っていくか，避難後にどういう手当を行っていくか，今後幹事会において十分議論していきたい。大きな関心を持って参加したい。

事務局：先行している直轄河川の協議会での取り組み方針なども踏まえて進めていきたい。

庄原市：避難のタイミングを検討するとのことであるが，まずは計画規模の降雨で避難を行い，その後1/1000の降雨が予想されれば第2段階の避難ということなのか？いきなり1/1000年（最大浸水想定区域）で避難計画を作ると避難場所が変わってしまう。

事務局：現在，現行の計画規模での基準水位の見直し作業を行っており，来年度で全ての水位周知河川，約60河川の見直しを完了させたいと思っています。その後，最大浸水については，2次避難について議論していきたい。

三次河川：補足させていただく，最大浸水想定区域はとなれば三次市では7mもの浸水になり，どう避難するかが課題である。スーパー台風などの洪水を想定しているもので，現在，中央

での委員会で最大浸水想定区域の考え方を検討中である。現状での計画規模の避難を確実に  
行うことが重要と考える。

三次市：この協議会では、計画規模での降雨による洪水を議論するのか、1/1000年での降雨に  
よる洪水を議論するのか？

三次河川：1/1000年という言葉が独り歩きするのは好ましくない。想定しうる、つまり山陰ブ  
ロックの中でこれまでの最大規模の降雨が起きた場合どうなるか、どう浸水するかを計算し  
たもの。それを何年規模というとなると1/1000年となるということです。

事務局：計画規模以上の雨が降ることは有りうるわけでそのときにどう避難するかをこの協議  
会で議論したいと思っております。

広島県管理河川大規模氾濫時の減災対策協議会（北部建設事務所管内）  
出席者名簿

<委員>

所 属	委 員	出 席 者	備 考
広島県 土木建築局	局 長	土 木 整 備 部 長	代 理
広島県 北部建設事務所	所 長	所 長	
広島県 北部建設事務所庄原支所	支 所 長	支 所 長	
三次市	市 長	市 長	
庄原市	市 長	生 活 福 祉 部 長	代 理
国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所	所 長	所 長	
気象庁 広島地方气象台	台 長	台 長	